

6月23日 逍遙



日本最大の城門である、鶴丸城・御楼門の復元が完成して早や3ヶ月近くが経ちましたが、もうこの御楼門を実際にくぐり抜けてみられたでしょうか？

この御楼門は、当時の古写真など、数少ない史料等を手がかりに復元されたのですが、その古写真の中には、御楼門が焼失した年の一年前、1872年に、明治天皇が鹿児島に行幸した際に同行していた宮内省御用掛の写真師・内田九一が撮影したカットも含まれています。明治天皇が鹿児島港に入港され、参議の西郷隆盛らを従えて、御洋服御乗馬のお姿で、この御楼門から鶴丸城本丸に入城したのが、まさに6月22日だったのです。出発日は悪天候のため延期となり、結局は翌月7月2日早朝となりました。

ちなみに、その間、西郷は一度も島津久光(二の丸に在所)のもとに伺わなかったため、これに激怒した久光が西郷に詰問状を出した、とされています。

現在、黎明館の敷地内(国道10号線側)には、この時の明治天皇の鹿児島行幸記念碑が建立(明治45年建立、碑銘は松方正義の書)されています。

次回「まさかの想定外がもたらしたものの、のころ」

「これからの鹿児島を
見つめ続ける御楼門、のころ」